

人と自然と文化が躍動する環境創造都市

自治体情報 山梨県北杜市

人口 / 49,063人 標準財政規模 / 23,000百万円

担当課 生活環境部 環境課

電話番号 直通 0551-42-1341

実施主体 北杜市

関連ホームページ <http://www.city.hokuto.yamanashi.jp/hokuto/shiyakusyo/soshiki/1305252659-46.html>

事業期間 平成18年度から

関係施策分類

予算関連データ

総事業費：一千円

名称	所管	金額(千円)

施策のポイント

北杜市では、「人と自然と文化が躍動する環境創造都市」を基本理念に掲げ、日本一の日照時間を活かした太陽光発電や豊富な水資源を活用した小水力発電をはじめとしたクリーンエネルギーの率先導入及び積極的な普及啓発活動について、イニシアティブをとって取り組んでいる。

施策の概要

1. 取組に至る背景・目的

北杜市は山梨県の北西部に位置し、日本一の日照時間、清流で豊富な水資源、八ヶ岳や南アルプスなどをはじめとする日本を代表する山々に囲まれた自然豊かな地域である。これらの自然は市民の誇りであり、この自然を守り育て、次世代に引き継ぐため「人と自然と文化が躍動する環境創造都市」を市の基本理念に掲げ、平成18年3月に北杜市地域新エネルギービジョンを策定し、基本方針である「太陽と水を中心とする自然エネルギーの活用」「市民・事業者・行政の連携による推進」を中心に様々な取組を進めている。

デモンストレーション効果の高い地方公共団体の新エネルギーの導入施策が果たす役割は大きく、高い公共性を有しており、低炭素社会の実現に資する社会資本として、新エネルギー施設を形成することは地球温暖化対策やエネルギーの安全保障に直轄するものであることを踏まえ、地域においてもクリーンエネルギーの恩恵がもたらされることから、各地域に分散的に存在する太陽光発電、水力発電などの新エネルギーを市の積極的なイニシアティブの基、導入し、普及させることを目的としている。

2. 取組の具体的内容

(1) 太陽エネルギープロジェクト

- ①北杜サイト太陽光発電所の運営事業（北杜市と(株)NTTファシリティーズが、(独)NEDOからの委託を受けて実施。研究期間5年間の実証研究。約2 MW級の大規模太陽光発電システムを構築し、今後の普及拡大に向けた実証研究に取り組んだ。平成23年4月1日より北杜市営「北杜サイト太陽光発電所」として開所）
- ②住宅用太陽光発電システム設置費補助金事業（導入の促進を目的とし、平成18年より1 kWあたり25,000円（上限20万円）の補助を行っている。）
- ③北杜市まるごとメガワットソーラープロジェクト（太陽光発電システムを市内の公共施設に4 MWの導入を目指すもの）

(2) 水力エネルギープロジェクト

- ①村山六ヶ村堰水力発電所の運営事業（農業用水路を利用した発電所。平成19年度より稼働しており、320kWの流れ込み式水力発電所、年間220万kWhを超えるクリーン電力を創出している。）
- ②三分一湧水ミニ水力発電所（名水百選に認定されている三分一湧水を利用した1 kWの流れ込み水力発電所。電気は公園内の照明等に利用している。）
- ③小水力発電実現可能性調査（市内にある小水力発電可能地点を調査し、小水力発電の導入を積極的に図っている。）

3. 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

北杜サイト太陽光発電所	予想年間発電量	約2,000,000kWh/年
北杜市六ヶ村堰水力発電所	予想年間発電量	約2,240,000kWh/年

4. 現在までの実績・成果

北杜サイト太陽光発電所及び市内公共施設に導入した太陽光発電システムの出力合計は、2,950kWで年間発電量は、367万kWとなり、約2,000 tのCO₂排出量削減に貢献している。また、村山六ヶ村堰水力発電所の年間発電量は、約250万kWとなり、約1,400 tのCO₂排出量削減に貢献している。

5. 導入・実施にあたり工夫した点や苦勞した点とその対処法・解決策など

地域の合意形成を得るのに苦勞したが、ねばり強く、丁寧な説明をすることにより解決した。

6. 今後の課題と展開

市は、これからも市が有する豊かな自然資源を活かした地球温暖化防止対策・環境教育の実施・新たな新エネルギー施設の導入と環境保全の取り組みを行い、北杜サイトを拠点とし、市内の関連施設と連携を図り、北杜市次世代エネルギーパーク計画の実現を目指す。